京都大学新聞
学生団体
京都大学新聞社
京都市左京区吉田
京都大学構内
京都 (771) 8111 (2054) 学内 (2441) 直通
振替・京都33909
(1部 20円)

加茂川のほとり
新館 旅館 清州 きよす
クラスコンパに ご相談承ります
(本館)
河原町今出川電停前
TEL (231) 1750・8776
(新館)
寺町通今出川上ル
TEL (231) 5121・5122

■今週の紙面■
一面 ◀学園評論
二面 ▼学内ルポ「東南アジア研究センター」
三面 ▼東京ルポ「四・二八～メーデー」
四面 ▼「ならずもの暴力宣言」

## 学園評論

# 共闘機関の革命的再生を
## 大衆運動の発展をかけて

今月下旬から来月初旬にかけてなされんとする沖縄返還協定の調印は、七二年の施政権返還に向けて、進捗して行く沖縄の返還過程（日米安保体制のアジア、太平洋への拡大・再編の要としての沖縄の生み直しをその軸とする）の一つの頂点としてある。

そして、このプルジョアジーの攻撃に抗して闘う本土・沖縄の労働者・学生の闘いは、総体として沖縄返還協定調印阻止に向けて収約されていかんとしているが、その闘いの中で、先週号の学園評論で問題としたように現在の組織形態の限界が、一つには四・二八闘争における二つの集会として現象した問題として、いま一つには、全国全共闘連合総体として、沖縄闘争をめぐる亀裂のあり方を鮮明化し得ないということとして明らかになっている。

ここでは、先週の学園評論で試みた、全国的な戦線再編の課題の整理を全面的に、京大の学生戦線が、とりわけ教養部の運動が直面している問題について整理すると共に、その解決の方向性についても論及してみたい。

……一……

昨年五・六月のスト闘争から、六・七月の七〇年安保闘争を闘い抜いた六闘委運動、そして、昨秋期以来の教養部闘争委運動として発展してきた教養部の学生運動が、現在直面している課題を鮮明化する当って、まずその現象形態としての戦線の分解の様相を確認しておきたい。

教養部闘争委員会の分解は、まず四月中旬、四・二八沖縄闘争に向けた運動の展開をめぐる亀裂としてあらわれた。それは、表面的には共同行動の原則一運動期統一相互の関係の問題として、現象しようとするのかをめぐる亀裂にまでは至らずとも、いかに革命をするのかの問題としての亀裂が内包されていたことを確認しておかなければならない。そしてこの亀裂は運動の成果として発展的に止揚されず、三つの代議員大会のあいつぐ流会という事態を回避し得ぬまま、に、教養の大衆運動総体の発展をかちとれなかったところに、教養部闘争委の限界を見ておかねばなるまい。

そして現在、今月十九日の沖縄全島ゼネストから、六月返還協定調印阻止を射程に据えた運動が、七二年の施政権返還このものに対する立場をめぐる「返還粉砕」として鮮明に打ち出して闘わんとする潮流と、それを鮮明にせぬまま、当面の返還協定調印阻止の一点で意志一致して運動を展開せんとする潮流との二つの流れともって教養部の沖縄闘争は展開されている。

この分解は、沖縄闘争の方針をめぐる民主的な亀裂を反映した分解であり、いかなる革命をせんとするのかについての論争にまで発展せず得る内容をはらんでいる。

この亀裂をもった、討論の深化＝原則的な党派闘争の展開と、総体としての大衆運動の発展として止揚する方向に向け得なかったことを、教養部闘争委の限界として確認した上で、この戦線の分解の中で何を新たな共同行動機関の創出に向けて準備するのか問題を見つめつつ教養部の運動を展開していく方向性について論及したい。

……二……

教養部闘争委の限界性・不充分性が、まず問題となる。教養部闘争委が、全国全共闘のミニチュアとして、党派間の闘争実行委としてしか機能しえず、その現状が固定化されてきたこと、問題はここにある。それは何に起因するのか。そしてそれはどのように突破されるべきか。

ここでは現実に今教養部で生まれている自己すべき二、三の現象に即して、一つの仮説を提示しておきたい。

教養部を基盤として形成される反帝共同行動機関は教養部総体の反帝闘争の大衆的発展を保障しなければならない。しかもそれは、ものであるかを含めて鮮明にされなければならないし、それをめぐる討論が、大衆的に、さまざまな領域で闘うさまざまな戦線との生き生きとした交流の中で、そのなかで、徹底的に展開され運動総体の飛躍を保証するものとなるのである。

今月下旬から来月初旬にかけてなされんとする沖縄返還協定の調印は、七二年の施政権返還に向けて、進捗して行く沖縄の返還過程（日米安保体制のアジア、太平洋への拡大・再編の要としての沖縄の生み直しをその軸とする）の一つの頂点としてある。そして、このプルジョアジーの攻撃に抗して闘う本土・沖縄の労働者・学生の闘いは、総体として沖縄返還協定調印阻止に向けて収約されていかんとしているが、その闘いの中で、先週号の学園評論で問題としたように現在の組織形態の限界が、一つには四・二八闘争における二つの集会として現象した問題として、いま一つには、全国全共闘連合総体として、沖縄闘争をめぐる亀裂のあり方を鮮明化し得ないということとして明らかになっている。

ここでは、先週の学園評論で試みた、全国的な戦線再編の課題の整理を全面的に、京大の学生戦線が、とりわけ教養部の運動が直面している問題について整理すると共に、その解決の方向性についても論及してみたい。

……一……

昨年五・六月のスト闘争から、六・七月の七〇年安保闘争を闘い抜いた六闘委運動、そして、昨秋期以来の教養部闘争委運動として発展してきた教養部の学生運動が、現在直面している課題を鮮明化する当って、まずその現象形態としての戦線の分解の様相を確認しておきたい。

教養部闘争委員会の分解は、まず四月中旬、四・二八沖縄闘争に向けた運動の展開をめぐる亀裂としてあらわれた。それは、表面的には共同行動の原則一運動期統一相互の関係の問題として、現象しようとするのかをめぐる亀裂にまでは至らずとも、いかに革命をするのかの問題としての亀裂が内包されていたことを確認しておかなければならない。そしてこの亀裂は運動の成果として発展的に止揚されず、三つの代議員大会のあいつぐ流会という事態を回避し得ぬまま、に、教養の大衆運動総体の発展をかちとれなかったところに、教養部闘争委の限界を見ておかねばなるまい。

そして現在、今月十九日の沖縄全島ゼネストから、六月返還協定調印阻止を射程に据えた運動が、七二年の施政権返還このものに対する立場をめぐる「返還粉砕」として鮮明に打ち出して闘わんとする潮流と、それを鮮明にせぬまま、当面の返還協定調印阻止の一点で意志一致して運動を展開せんとする潮流との二つの流れともって教養部の沖縄闘争は展開されている。

この分解は、沖縄闘争の方針をめぐる民主的な亀裂を反映した分解であり、いかなる革命をせんとするのかについての論争にまで発展した問題としてもって教養部の沖縄闘争は展開されている。

この亀裂をもった、討論の深化＝原則的な党派闘争の展開と、総体としての大衆運動の発展として止揚する方向に向け得なかったことを、教養部闘争委の限界として確認した上で、この戦線の分解の中で何を新たな共同行動機関の創出に向けて準備するのか問題を見つめつつ教養部の運動を展開していく方向性について論及したい。

……二……

教養部闘争委の限界性・不充分性が、まず問題となる。教養部闘争委が、全国全共闘のミニチュアとして、党派間の闘争実行委としてしか機能しえず、その現状が固定化されてきたこと、問題はここにある。それは何に起因するのか。そしてそれはどのように突破されるべきか。

ここでは現実に今教養部で生まれている自己すべき二、三の現象に即して、一つの仮説を提示しておきたい。

教養部を基盤として形成される反帝共同行動機関は教養部総体の反帝闘争の大衆的発展を保障しなければならない。しかもそれは、ものであるかを含めて鮮明にされなければならないし、それをめぐる討論が、大衆的に、さまざまな領域で闘うさまざまな戦線との生き生きとした交流の中で、そのなかで、徹底的に展開され運動総体の飛躍を保証するものとなるのである。

## 沖縄返還協定

### 資産の引継額 那覇空港取扱
# 日米、基本的に合意
## VOA問題も大詰めに

（二千四百四十億円）で詰しあいという形で米側が要求し、日本政府としては①沖縄返還の「目玉商品」がほしい②基地の返還は、面積・件数ともできるだけ多くとったの印象を与えたいなどの理由から、一定の代償を支払っても米軍が手はなすものは手はなしてほしいとの欲張的な立場で交渉を進めている。

有償で買うきつねの金額、那覇空港のとりあつかいなどに返還協定

事実上妥協を余儀なくされ、六月二十四日の公聞会を開いた。この国会は、二十四日の会期末をひかえて、六日から国会の審議に入るが、野党はこれに対して、予算委員会が、外務委と沖縄・北方特別委の連合審査会で質疑すべきだ、と主張している。また、「第七心理作戦隊」、空中撮映用のSR71新鋭機など米軍基地機能の存続は〝本土なみ〟とは言えず、アジアの緊張激化に加担するものだ」との論点から政府を追

七二年返還を控えて、県民および労働者内部の社会的亀裂と階級的分解がますます深まるなかで、屋良主席、平良琉球政府主席、県議会・全沖労連の三者共催の「第十五回統一メーデー」と沖縄同盟のメーデーとのはじめての分裂メーデーとなった。

統一メーデーは、五月一日午後二時から、那覇市与儀公園の中央広場と北部・宮古・八重山の四会場で一斉に開かれた。

那覇の中央大会には、約一万名の労働者が結集、仲吉良新メーデー実行委員長の決意表明をはじめに、各団体の代表発言につづいて、屋良主席、平良琉球政府主席の決意表明のなかでは、今回のメーデーが単に労働者の条件闘争ではなく七十二年返還協定を前に労働者の階級的団結の拡大・強化をめざすこと、〝闘うメーデー〟であることを強調し返還協定粉砕に向けて、五・一九ゼネストへの決起をうながした。

大会では、つづいてメーデー宣言と五つの決議および沖縄労働者階級の統一と団結で奮闘を勝利し、物価値上げ阻止・大幅減税・社会保障の拡充をかちとろう②復帰合理化反対・労働者の分と雇用の安定をかちとろう③地公法・教公二法の押しつけ、労働基本権はく奪・侵害する反動的立場に反対し既得権をまもろう④教育の反動化阻止⑤基地・毒ガス・核兵器の完全撤去、軍用地の再契約、自衛隊の進駐・演習阻止、日米安保体制打破、軍国主義復活反対。の五つのスローガンを採択した後、街頭デモに移り、立法院まで

（1面から続き）

統一地方選挙につづく連休で、事実上休会状態だった国会は、二十四日の会期末をひかえて、六日から国会の審議に入った。しかし今回の国会の最要法案である出入国管理法案、消国神社法案、健康保険法改正案、国家行政組織法改正案などへ、いずれも成立の可能性は少なくなっている。

この中で政府は、愛知外相が二十日すぎに衆参両院の本会議で沖縄返還交渉について「中間報告」を行う予定であり、野党はこれに対して、予算委員会が、外務委と沖縄・北方特別委の連合審査会で質疑すべきだ、と主張している。また「第七心理作戦隊」、空中撮映用のSR71新鋭機など米軍基地機能の存続は〝本土なみ〟とは言えず、アジアの緊張激化に加担するものだ」との論点から政府を追

支援闘争を軸として大衆運動の展開を強調する傾向、動員体制を決めた。

一方、地方同盟のメーデーは、一日一時から那覇市小学校に約二千名の労働者の参加で行なわれ、屋良政権の復帰施策への協力を唱える大会宣言を採択。返還協定の問題にもふれず、沖縄総的な主張を大きくうち出した。大会の後、午後三時から立法院前で市内デモをして解散した。

七二年返還を控えて、県民および労働者内部の社会的亀裂と階級的分解がますます深まるなかで、屋良主席、平良琉球政府主席の決意表明のなかでは、今回のメーデーが単に労働者の条件闘争ではなく七十二年返還協定を前に労働者の階級的団結の拡大・強化をめざすこと、〝闘うメーデー〟であることを強調し返還協定粉砕に向けて、五・一九ゼネストへの決起をうながした。

大会では、つづいてメーデー宣言と五つの決議および沖縄労働者階級の統一と団結で奮闘を勝利し、物価値上げ阻止・大幅減税・社会保障の拡充をかちとろう②復帰合理化反対・労働者の分と雇用の安定をかちとろう③地公法・教公二法の押しつけ、労働基本権はく奪・侵害する反動的立場に反対し既得権をまもろう④教育の反動化阻止⑤基地・毒ガス・核兵器の完全撤去、軍用地の再契約、自衛隊の進駐・演習阻止、日米安保体制打破、軍国主義復活反対。の五つのスローガンを採択した後、街頭デモに移り、立法院まで

（1面から続き）

支援闘争を軸として大衆運動の展開を強調する傾向、動員体制を決めた。

一方、地方同盟のメーデーは、一日一時から那覇市小学校に約二千名の労働者の参加で行なわれ、屋良政権の復帰施策への協力を唱える大会宣言を採択。返還協定の問題にもふれず、沖縄総的な主張を大きくうち出した。大会の後、午後三時から立法院前で市内デモをして解散した。

## ゼネストへむけ戦闘性を強調
### 沖縄現地
### 初の分裂メーデーへ

沖縄県民諸団体「復帰協」は、さきに「返還協定は県民の意思を無視して進められている」として五・一九ゼネスト決行を決めたが、この方針にもとづいて四日午後、那覇市に「復帰協」、「総労協」、教職員会、全沖労連、沖青協、婦連、社会大衆党、人民党、社会党

（1面から続き）

の代表者を集めて五・一九ゼネスト闘争委員会を発足させ、ただちに第一回闘争委員会を開いた。

この席上、闘争委員会としては十八日にゼネスト突入宣言、全国民へのアピールを行ったあと、十九日午前零時から県下いっせい一時ストライキに突入、午後一時から那覇で「日米共同声明破綻の返還協定粉砕」の大集会を開いた。

この集会、闘争委員会としては、「返還協定粉砕」を基本スローガンとして、「復帰」合理化反対・賃金・労務対策費、米軍施設の移転・撤去・軍用地の再契約を否し、地主の「軍用地の再契約を否し、地主の権利と財産を守る会」をゼネスト準備に並行して五月中旬までに結成することを決めた。

各組織とも、十四・十五両日までにゼネスト批准投票、態度決定を目標にしているところから、十五日までにゼネストの規模がほぼ明らかになるとみられる。

## 米政府、「返還協定」上院提出へ

米国務省スポークスマンは、三日の記者会見で、「沖縄返還協定を条約の形で、上院の承認を求めることが慎重な検討の結果決められており、このねねをと院外交委員長に通告してある」と語った。その理由としては、沖縄「返還」が米国の大学紛争と関係すること、対日平和条約も、日米安保条約とともに上院の承認を求めたことをあげた。この上院提出によって、返還協定の審議は維新交渉からまることになり、審議のはっきりした見通しはたてられない。

返還協定の米国内法的取扱いは①上院の批准承認を必要とする憲法上の「条約」の形式とする②上院の「行政協定」とする、二つの方法があるとされてきた。これが前述の理由から、①に決定されたもの。

米上院（定員百）で、沖縄返還協定に積極的に賛成するとみられる議員、日米親善議員はともに約二十人。「難」と「沖縄」とから、「沖縄」を切り離せるか、米繊維業界が満足できる状況が作り出せないかぎり返還協定の審議にたいして反対投票、ないし議事進行妨害戦術に出る議員がかなり現われる可能性が大きい。

## こくばん

二月～三月の第一次強制代執行をめぐる激闘から早や二カ月近く、闘いの余韻さめぬ三里塚の初夏。農作業に第二次代執行への闘争態勢づくりに日々緊急だった時間〈を闘いぬいている事だろう。〉敵しい緊張関係は時として想像しえぬ〈事件〉を、ヘリプニングをまきおこしつつある。いや、ヘリプニングなどではなく、騒乱の真紅の炎を前に、資本家どもは自らの手で、自らの舎で〈武装〉を余儀なくされている。日大でも、光文社でも、そして三里塚でも、ヘリプルジョリというへ権限状況〉における、自らの財産は、地位は、自らの力で守るしかない、という〈権限状況〉における、危機感は一つの運動のもとに集約されようとしている。大地震の宣伝と百警団防災計画の組織化、そうヘファシズム〉の風は現実のものとして進行しつつある、ことを。▼九日、三里塚にスタンドが開設された日共、民青の諸君は、欺を鳴い、「強制代執行粉砕」を宣言しようとうた。誰にむけてかわからぬ資色のヘルメットをかぶりつつ、六分年にわたる闘いの〝舞台〟のためにのみ。▼第二次強制代執行は迫りつつある。初夏の、そして梅雨の三里塚は、農民の火の如き闘いの場へと、その様相を変えてゆくだろう。ブルドーザーが土を削り、地形をかえてゆこうとも、騒ぐ農民の、そして民たちの〈闘い〉は消えはしないのだ。

（編集部）

## 劉道昌君支援闘争
# もと通り一年の「在留許可」を
## 京都三大学でハンスト突入

さる四月二十日、東大公開講堂前で「李韓政君を悼み、僕に対する〝警告〟処分に抗議して絶食する」と宣言し、在日中国人青年劉道昌君がハンガーストライキに突入してから二十日間がすぎようとしている。

この劉君の生命をかけた、数しい問題提起をうけて、京大では、五月六日から「われは京大入管闘は劉道昌君に在留一年の〝在留許可〟を勝ちとり、入管法案を粉々に打ち砕く闘いの闘争を進信し、すべての〝みなさんの総決起を訴えて、断固たるハンガーストライキに突入する」と宣言。教養部正門前で「入管闘の千君がハンストに突入した。また同時に、立命館大文学部入管研の要求を掲げてハンストに突入した。しかし、立命館大学では五月六日、一般学生のいなくなる、午後十時半頃、劉君支援のハンストを闘う入管研行動隊が民青系学生によって暴撃され、十名がテロ、リンチされ、二名が重傷を負うという事態が発生した。

このころ、立命館大学は、協定調印に向けての反動的な「警告」を出した。

また、京大入管闘を中心にクラス入り、ビラまきが行なわれ、同時に劉君の在留の一年在留許可を法務省に要求する署名がすすんでいる。

教養部各クラスにおいては、これらの問題提起に呼応して、クラス討論がすすめられ、「一、劉道昌君に在留一年の在留許可を一、劉君の四回目要求断固支持一、法務省の不当な弾圧に抗議する！一、出入国管理法案粉砕！」などをスローガンに、現在、文学部一回生二組、四組（背志）、二回生二組、三組、経済学部一回生四、五組、法学部一回生二組などのクラス決議がありうけられ、これからの闘いの展開を予定している。

劉君の闘いは、彼の「反対・反入管」の闘いに対する法務省による在留期間の半年への短縮（警告）処分に抗議して展開されてきたものであり、昨年十二月には法務大臣に対し「直訴状」をつきつけ、四度目の要求（一、私の在留期間をもと通り一年にもどしてほしい。二、私の在留期間を一年から六月に短縮した理由を明らかにしてほしい。三、私に対するすべての不当な道路調査、尾行、家族への圧力をたちやめてほしい。四、私たち在中国人、朝鮮人の基本的人権を踏みにじらないでほしい）への回答を迫った。

しかしながら、法務省入管局は劉君に対し百八十日の「在留許可」を強要し、直訴状に対しては「外国人が日本に在留できるのは恩恵的措置である」「期間短縮は政治活動への〝警告〟である」という反動的な回答を出すのみであった。

四月二十一日の再度の「在留許可期限切れ」を前に、法務省は三度目の「在留許可」を強要せんとしており、劉君の闘いはこれと正面から対決するものである。

三月十八日、国会に上程された入管法は「反政府的政治活動の禁止」を明記しており、劉君への弾圧は、入管法の先取りともいえるものである。

ハンストという字通り「生命をかけた」劉君の闘いに呼応し、三月二十日から二十二日間にわたり食敵された劉道昌君を支持する闘争委員会（劉闘委）のハンスト闘争を強行に、四月二十、二十一日には法政、慶応、東洋、横浜国立の各大学におけるハンスト闘争

また、京大入管闘を中心にクラス入り、ビラまきが行なわれ、同時に劉君の在留一年の在留許可を法務省に要求する署名がすすんでいる。

教養部各クラスにおいては、これらの問題提起に呼応して、クラス討論がすすめられ、「一、劉道昌君に在留一年の在留許可を一、劉君の四回目要求断固支持一、法務省の不当な弾圧に抗議する！一、出入国管理法案粉砕！」などをスローガンに、現在、文学部一回生二組、四組（背志）、二回生二組、三組、経済学部一回生四、五組、法学部一回生二組などのクラス決議がありうけられ、これからの闘いの展開を予定している。

劉君の闘いは、彼の「反対・反入管」の闘いに対する法務省による在留期間の半年への短縮（警告）処分に抗議して展開されてきたものであり、昨年十二月には法務大臣に対し「直訴状」をつきつけ、四度目の要求（一、私の在留期間をもと通り一年にもどしてほしい。二、私の在留期間を一年から六月に短縮した理由を明らかにしてほしい。三、私に対するすべての不当な道路調査、尾行、家族への圧力をたちやめてほしい。四、私たち在中国人、朝鮮人の基本的人権を踏みにじらないでほしい）への回答を迫った。

しかしながら、法務省入管局は劉君に対し百八十日の「在留許可期限切れ」を前に、法務省は三度目の「在留許可」を強要せんとしており、劉君の闘いはこれと正面から対決するものである。

三月十八日、国会に上程された入管法は「反政府的政治活動の禁止」を明記しており、劉君への弾圧は、入管法の先取りともいえるものである。

ハンストという字通り「生命をかけた」劉君の闘いに呼応し、三月二十日から二十二日間にわたり食敵された劉道昌君を支持する闘争委員会（劉闘委）のハンスト闘争を強行に、四月二十、二十一日には法政、慶応、東洋、横浜国立の各大学におけるハンスト闘争

# 劉君の四週目に突入
## ハンスト支援闘争の圧倒的拡大を

私たちは、困難な時代に教養する文学的営為において、今日最も確かな感性と想像力を持ち続けた優しかいたい同時代者、高橋和巳氏を喪った。いま残されたものは、あまりにも深い悲しみと哀惜の念である。

時代を同じくしたのみならず、空間までも共にすることのできた私たちにとって、氏の本学在任中直接に示され、あるいは提起された氏の作品、論考に認知しうる存在に迫らんとするその営為の厳しさは、何にもかえがたい指標であった。いま、私たちは、確実にひとつのすぐれた感性の崩壊に接したのである。

そして、氏を愛してはなら営々と続くこの時代を、私たちは生きていかんとしている。その行為のなかで、いかほどか私たちが高橋和巳氏が問い続けたものに迫りうる手がかりを得られるかもしれない。

一九七一年五月十日

## 高橋和巳氏の死を悼む

## ハンスト突入を宣言
### 五・四運動五十二周年全京大集会

四日午二時より教養部正門前において、京大入管闘・沖縄闘争委員会・入管研・入管法粉砕共闘会議」がひらかれた。

この集会には約五十名が結集し日本帝国主義の中国侵略に対する抗議の火の手をあげ中国革命の突破口となった五・四運動の中国史的な意義の確認と、入管闘争、沖縄闘争に向けての方針提起が各戦線よりなされた。

まず入管闘からは「劉君のハンストを支持し、日帝がフジョウジョウのアジア革命に対する強圧に断乎抗議し、入管法粉砕に向けて闘う」との基調報告がなされた。続く

（1面から続き）

の代表者を集めて五・一九ゼネスト闘争委員会を発足させ、ただちに第一回闘争委員会を開いた。

この席上、闘争委員会としては十八日にゼネスト突入宣言、全国民へのアピールを行ったあと、十九日午前零時から県下いっせい一時ストライキに突入、午後一時から那覇で「日米共同声明破綻の返還協定粉砕」の大集会を開いた。

この集会、闘争委員会としては、「返還協定粉砕」を基本スローガンとして、「復帰」合理化反対・賃金・労務対策費、米軍施設の移転・撤去・軍用地の再契約を否し、地主の「軍用地の再契約を否し、地主の権利と財産を守る会」をゼネスト準備に並行して五月中旬までに結成することを決めた。

各組織とも、十四・十五両日までにゼネスト批准投票、態度決定を目標にしているところから、十五日までにゼネストの規模がほぼ明らかになるとみられる。

## 沖縄返還協定
### 資産の引継額 那覇空港取扱
# 日米、基本的に合意
## VOA問題も大詰めに

（二千四百四十億円）で詰しあいという形で米側が要求し、日本政府としては①沖縄返還の「目玉商品」がほしい②基地の返還は、面積・件数ともできるだけ多くとったの印象を与えたいなどの理由から、一定の代償を支払っても米軍が手はなすものは手はなしてほしいとの欲張的な立場で交渉を進めている。

有償で買うきつねの金額、那覇空港のとりあつかいなどに返還協定

事実上妥協を余儀なくされ、六月二十四日の公聞会を開いた。この国会は、二十四日の会期末をひかえて、六日から国会の審議に入るが、野党はこれに対して、予算委員会が、外務委と沖縄・北方特別委の連合審査会で質疑すべきだ、と主張している。また「第七心理作戦隊」、空中撮映用のSR71新鋭機など米軍基地機能の存続は〝本土なみ〟とは言えず、アジアの緊張激化に加担するものだ」との論点から政府を追

## 五・一九へオルグ態勢
### 戦術の緻密化へ

五月一日の人民日報は「中国の領土主権に侵犯を許さない」と題する評論員の論文で、「尖閣列島は台湾と同様、昔から中国の神聖な領土であり、米日反動派が沖縄「返還」のペテンをあくどく飾り魚島（尖閣列島魚釣島）などの魚島を「返還区域」内に組み込んで現在基本的には十分だとしながら

（1面から続き）

の領土の侵略・併とん」米日反動粉砕されるであろう」と主張している。

## 大好評!!
### 文林 カセットシリーズ

生きた初級フランス語 カセット4巻、テキスト、別冊「動詞変化表」、別冊、解答例 ¥九〇〇〇
野村二郎 東京教育大学 教授／大友徳明 法政大学 助教授 共著
生きた中級フランス語 カセット9巻、テキスト、別冊、解答例、質問カード ¥一九〇〇〇
学びはじめを重視した新フランス語コース カセット2巻、テキスト、学習の手引き、¥四八〇〇
田中康一 千葉大学 名誉教授／乙政潤 大阪大学 教授 共著
生きた初級ドイツ語 カセット4巻、テキスト、学習の手引き①②、上達測定テスト、絵本 ¥九五〇〇
文林書院 〒112 東京都文京区水道2-5-5 TEL 東京03 813-8951(代)

## 《新発売》

### 格調高い読み物
- 研究と大学の周辺 代表理事 藤沼著 B6・四八〇円
- 一工学者のねがい 川上正光著 B6・四八〇円
- 楡の散歩道 黒田孝郎著 B6・七〇〇円
- 南極の氷 鳥居鉄也著 B6・四〇〇円
- アインシュタイン選集 湯川秀樹監修 I・二三〇〇／II・二五〇〇円
- 情報科学の視座 北川敏男著 B6・七五〇円
- 統計科学の三十年 北川敏男著 B6・四八〇円
- 物質・生命・宇宙 湯川秀樹他編 I・六八〇／II・七八〇円

### 実力つける演習書
- 代数・幾何演習 福田安蔵他編 A5・七五〇円
- 微積分演習 I・II 福田安蔵他編 A5・各八五〇円
- 微分方程式演習 福田安蔵他編 A5・七五〇円
- ベクトルと行列演習 福田安蔵他編 A5・七五〇円
- 応用解析演習 福田安蔵他編 A5・七八〇円
- 物理学演習 上・下 後藤憲一他編 A5・各九五〇円
- 電磁気学演習 後藤憲一他編 A5・一五〇〇円
- 物理化学演習 小野寺三郎他編 A5・九五〇円

### 定評ある辞典・便覧
- 科学技術人名事典 アシモフ著／菊池訳 B6・二八〇〇円
- 数学小辞典 矢野健太郎編 B6・一九〇〇円
- 数学公式集 小林幹雄他編 B6・八五〇円
- 数学公式 附函数表 泉信一他編 ポケット判・三〇〇円
- 数学ハンドブック 穂刈四三一他編 三六判・六〇〇円
- 物理学公式 新装初三版 B6・一五〇〇円
- 化学用語辞典 大学教育化学研究会編 四六判・六五〇円
- 化学大辞典 全10巻 同解典編集委員会編 揃価三五〇〇〇円
- 建築辞典 同解典編集委員会編 B6・一八〇〇円
- 建築実用便覧 清水一編 ポケット判・一〇〇〇円
- 建築構造ポケットブック 中野清司他編 ポケット判・七五〇円
- 建築材料ポケットブック 宮野秋彦編 ポケット判・七五〇円
- コンクリートポケットブック 大蔵次郎編 ポケット判・六五〇円
- 電気工事ポケットブック 渡田栄一編 B6判・二〇〇円
- 機械設計図表便覧 小栗第十雄著 A5・六〇〇〇円

### 数学関係書
- 近世数学史談 3版 高木貞治著 B6・七五〇円
- 数学雑談 2版 高木貞治著 B6・九〇〇円
- 集合論 新版 辻正次著 A5・七〇〇円
- ベクトル解析 新版 友近晋著 A5・一三〇〇円
- 代数学講義 改訂新版 高木貞治著 A5・一八〇〇円
- 常微分方程式 新版 ポントリャーギン著 A5・二一〇〇円
- 基礎数学 統計学通論 北川敏男他著 A5・五八〇円
- スミルノフ高等数学教程 茨木俊秀他監修 全7巻揃価二一〇五〇円

### 物理・化学関係書
- 物理光学 吉岡邦夫著 A5・三一〇〇円
- 初等量子力学 改訂版 ハイトラー著／久保訳 B6・七〇〇円
- 量子統計力学 久保亮五著 B6・八五〇円
- 量子統計力学 代数康治編著 A5・三三〇〇円
- 物理化学演習 改訂版 小野寺三郎他著 B6・八〇〇円
- 物理化学実験法 後藤廉平編 B6・七〇〇円
- 有機化学 デビューライン・ハート著／菅野賢吾他訳 A5・三〇〇〇円
- 定量分析の実験と計算 全3巻 高木誠司著 1・二〇〇／2・二三〇／3・三三〇

### コンピュータ関係書
- 情報と予測 森田清著 A5・二三〇〇円
- 電子計算機 磯部孝他編 A5・二二〇〇円
- 電子計算機 プログラミング入門 門倉敏夫著 A5・四八〇円
- 電子計算機 FORTRAN ALGOL 刀根薫他著 A5・八五〇円
- 電子計算機システム 西井重恭著 A5・一五〇〇円
- 電子計算機のハードウェア入門 森宗著 B6・九五〇円
- 電子計算機 フローチャート概論 宮内鏡三郎著 A5・八〇〇円
- 電子計算機入門としての論理代数と論理回路演習 小郷寛他著 A5・四五〇円
- FORTRAN入門 森口繁一他著 B6・六〇〇円
- FORTRAN テキスト 国井利泰監修 B5・一六〇〇円
- FORTRAN数値計算とプログラミング 国井利泰監修 A5・八五〇円
- タイムシェアリング・システム設計概論 I 菊池博彦他著 A5・九五〇円

自主的な学習で生きた知識を！ 共立出版
東京文京小日向 振替東京57035

ポ学内ルポ

# 東南アジア研究センター

「僕は東南アジア研究センターでやるintegrattonの調和のとれた近代化のために役立つものでなければならない」と思い、東南アジア諸国の政府が援助計画をたてる際に十分利用できるような形になっていくべきでしょう。」……

「このままいけばよいなる、というだけでよい。それが良くないとはいわなくてよい。その国にも他とのかねあいで、わかっているけれど現在はこの事態に陥ざるを得ないという政治判断があるかもしれない。」……

「社会科学の場合、current な問題に対していちおうティーチ・インのような形で素材を提供するような、もっとオープンな全学的ミーティングを主催することがあってもいいと思う。コーネル大（米）の例ではベトナム戦争が泥沼に入った時、Kahinのような専門家がベトナム問題に対してのinformattion をもっている人々を集めてきて、彼らの意見を学生に聞かせ、討論してもらうというようなSoutheast Asian Programが主催者になってオープンな形でやっておりました」（「東南アジア研究所四・9」の研究会による座談会「センター」における東南アジア研究」から）

名前くらいは昔にした覚えがあるが、東南アジア研が東京都北側の小路をこった辺にあるのは、ルポをするまでは知らなかった。

事務室・資料室などを含めて全部で十室に足りないほどの〝ささやかな〟ほうらい・本流の建物だ。

表は「センター」である。設立以来、他の学内研究所とは異なり、総長・各部局長で構成された東南アジア研究委員会（二年前から協議会に変更）の研究施設のもとにあって、機構的には独立した側面が強い。

このような海外地域の「総合研究」をめざすものとしては、国内では東京外大の「アジア・アフリカ言語文化研究所」などを除いて、〝先駆的〟なものであり、過渡的十年間、すでに研究課題には、学問、学外を制限する専任十六人の他、学内から約百人、学外からは約百人に上る研究者が参加している。

財団からの援助受入れを打切って以来、年度規模が拡大されるにもかかわらず、三千万円ほどの文部省予算だけでは不分ではなく、予算の増額とOTCA（特殊法人海外技術協力団）予算の活用、国連（ユネスコ、エカフェなど）予算の活用、更には再度「フォード財団の資金受入れに対する学生の反対を乗り越え」ることに「解決」できている。

58年以来の平沢学長、喜田東農学部長らを中心としたグループが「日本の東南アジア研が非常に遅れているから」として東南アジア研設置に奔走した背景には、アメリカの対中・ソ関係における対アジア政策（ベトナム戦争）、後進国援助外交に基づくアメリカ国内アジア研究強化（フォード、アジア財団の調査活動）、また日本における対外経済協力（OECF）、研究者の活用、更には再度「フォード財団」の援助受入れに対する学生の反対を乗り越えることに「解決」できている。

研究部門は年度を追って増加し、現在では社会・文化・自然資源（など）五部門が置かれている。規模の拡大とともに研究計画における内外の各大学、研究所の人的交流、共同研究が活発化し共同研究費（学内・崇内関の協力のもと経団連の調査機関として「アジア経済研究所」設立きる。

62 東南アジア研究、研究計画（対象領域・基本方針）発表。

4 フォード財団、アジア財団など米諸機関のビルマにおける活動全面禁止される。

6 東南アジア研究計画準備委（喜田東農学部長）設置、東南アジア研設立趣意書発表。

7 院生を中心に東南アジア研センター開設対策協議会、政治的性格、学術会議五原則堅持反、大学自治の破壊の観点で反対運動盛り上る。

8 当局フォード財団に援助申請

63 東南アジア研設立、第一次五ケ年計画開始。

4 フォード財団、東南アジア研に対し35万ドルの援助を発表。

・東南アジア研バンコク連絡事務所開設

64 学内組織から正式に官制化される。

64 平沢前学長「東南アジア研後援会」設立、関西財界からも千万円ほどの募金を得る。

65 前大統領特別補佐官・フォード財団理事長M・J・バンディ、喜田学長の招請で来学、東南アジア研教授団と会見。学内バンディ来学阻止闘争闘わる。

67 フォード財団から30万ドル（68～70の研究援助追加分）の援助決定。東南アジア研本部移転へ

68 文部移転反対闘争の中で、「東南アジア研究理委、以後のフォード財団からの研究奨学金受入れ打切り確認。

いま東京大において、医学部カリキュラム改革闘争、文・経済学部のスト闘争、更には東大地震研、応援闘争などの新たな教育学問闘争が噴出している一方、五月中旬教育長終答申をもって教育（研究）秩序の再編が全面的に進行せんとしている。

ここで、学内各部門の現状のルポを通して、教育・研究に貫かれた連協路線、近代合理主義との対決の視点を深化させてゆきたい。

今回は、設立以来問題になってきた東南アジア研の現状を報告する。（編集部）

# 東南アジアの〝近代化〟研究が担うのは

## C闘の意志一致ならず
### 返還粉砕派の突出へ—教養部

沖縄の施政権返還協定調印を目前にして、また劉宗高君の闘いの決定的局面をむかえて、教養部でも六日の連休あけと同時に発生した情況、クラス入りが開始された。

京大入管闘は劉君のハンガストに突入し、それを起点に、劉君支援のクラス決議と、法務大臣に対して劉君の即時釈放を要求することを求める署名の獲得を当面の課題として活発な運動を展開している。

五・一九に向けての沖縄闘争委員会としての意志一致が獲得できず、六日からの運動は、反帝学研が、七二年沖縄返還粉砕を掲げて返還粉砕での意志一致を追求するのに対し、反戦会議（第四インターなど）が、返還協定調印反対を基本的な意志一致として、その線で結集できる部分をもって六月闘争（止調印）を闘い抜かんとしており、また教養部闘争委員会は、これらとは今のところ独自に運動しており、さらに教養文学部、教養農学部を中心とする学部闘、サークルが連合で独自の運動を開始しようとしている。（学園評論参照）

各戦線の行動提起は、五・一九沖縄全島ゼネスト連帯闘争に集中しており、代議員大会は、学生共闘の集約と要求署名にもとづいて十八日の開催がすでに宣言されている。

終体として入管闘の運動の圧倒的な展開と、分裂してはいても、相互に活発な批判、反発判をかわしながらの沖縄闘争は、ヒラガ全文を出せ！に対する自治会執行部＝民青系の運動を圧倒している。

## 五・一九ストへ進む組織化
### 当局・民青系の妨害を粉砕して

四・二八闘争を経済学部ストライキとして貫徹した経済学部では五・一九沖縄全島ゼネスト連帯闘争を前に、入沖闘（入管闘争）を軸として再度のスト態勢の構築をめざしている。

このハンストは、九日現在、続行されており、経済学部学生、教職員に入管体制粉砕・入管法反対共同闘争委員会（略称共闘）は、経済学部学生、教職員（略）は、経済学部学生、教職員に対して、同好会等任委（民青系）は、入管闘争には一切取り組むことなく、署名活動を無視しむべく、京大入管闘に結集、同時に共闘闘争委の一名が六日午前九時法経五番教室前でハンストに突入した。

この二日間十名を突破している。これに対して、同好会等任委（民青系）は、入管闘争には一切取り組むことなく、署名活動を無視しむべく、京大入管闘に結集、同時に共闘闘争委の一名が六日午前九時法経五番教室前でハンストに突入した。

このハンストは、九日現在、続行されており、経済学部学生、教職員に入管体制粉砕・入管法反共同闘争委員会（略称共闘）は、経済学部学生、教職員（略）は、経済学部学生、教職員に対して、同好会等任委（民青系）は、入管闘争には一切取り組むことなく、署名活動を無視しむべく、京大入管闘に結集、同時に共闘闘争委の一名が六日午前九時法経五番教室前でハンストに突入した。

この十八日の学生大会に対して経済学部闘争委（略）は、学生大会開催の正要な日程は討論の不充分性といつつ実は「自治委員会において馬ゼミの自治委員が発言したように「四月二十七日の学生大会で決定された」スローガンは誤っている。修正の必要があると」いう意図であり、民青系の五・一九ストに対する宗派的利害によるスト破壊攻撃にすぎない」として、「民青系の大衆運動に対する敵対を粉砕し、五・一九ストを闘争の討論を深化しゼミスト決議を追求せよ」という方針を提起した。

## 先鋭的執行部確立さる
### 吉田寮

京都大学学生寮の吉田寮（東寮西寮）の四十六年度前期執行委員長選挙が四月二十七日に行なわれ現執行部推薦の井本光哉君が選出され、現執行部の闘う地平の確認と更なる寮闘争の推進の体制が確立された。

この選挙には現執行部推薦の井本君のほか、「全寮連を支持する会」（民青系）推薦の小瀬垣正一君が立候補し、現在的に大学当局よりかけられている西寮移転問題、寮費徴収問題と4・28沖縄闘争の方針をめぐり激しい論争が交わされた。

なお寮秋結果は次のとおり。

井本光哉（現執行部推薦）九十票

小瀬垣正一（「全寮連を支持する会」推薦）二十八票

## タイ計画の構成

担当者　テーマ

秋浜友也　稲の育種学的研究
飯島　茂　カレン族のタイ化過程
石井米雄　チャオプラヤーデルタの移住史
猪木正道　総括
海田能宏　チャオプラヤー水系内のかんがい排水
瀬戸口烈司　チャオプラヤー水系における古生物
高谷好一　メナム河の発達史
友杉　孝　チャオプラヤーデルタの人文地理
服部英生　土壌より古環境の推定
N. Brailey　ランナータイのシャムへの統合

## 略史

いまだに東南アジア研の京都移転問題が明らかにされていない。東南アジア研の〝拡大〟が何を意味するのか、学内ルポの視点の深化の中から日本と東南アジア諸国との関係の中での具体的な研究内容に切り込みつつ、研究参加者からの取材など、再度追及したい。（史）


国家公務員 募集（大学・短大卒程度）

〒540 大阪市東区法円坂町6—25 人事院近畿事務局 TEL (06) 841—2121

上級職員（大卒程度）

国家公務員上級（甲種・乙種）
締切り5月21日（金）
〈受験資格〉男女を問わず
昭13.4.2（乙種は昭17.4.2）～昭25.4.1生まれの者
（学歴を問わない）

国税専門官
締切り5月28日（金）
〈受験資格〉男子で
昭19.4.2～昭25.4.1生まれの者

青少年矯正保護観察官 上級（甲種・乙種）
締切り5月28日（金）
〈受験資格〉男女を問わず
昭13.4.2（乙種は昭17.4.2）～昭25.4.1生まれの者
（学歴を問わない）

労働基準監督官
受付期間 昭46.6.28(月)～7.13(火)
〈受験資格〉男女を問わず
昭11.4.2～昭25.4.1生まれの者
（学歴を問わない）

中級職員（短大程度）

国家公務員中級
受付期間 昭46.6.28(月)～7.13(火)
〈受験資格〉男女を問わず
昭19.4.2～昭27.4.1生まれの者
（学歴を問わない）

※申込書用紙、受験案内は宛先明記の返信用封筒を同封して請求して下さい。



あなたを海外へ派遣する予定です

当社では
国際的感覚を備えた商社マンの育成には力を注ぎ、若くして海外で活躍する機会が開かれています。

＊積極的な会社訪問を歓迎します。

年商850億　この輝かしい実績と若さを原動力として躍進を続ける貿易専門商社です

業容　鉄鋼・製鉄原料・機械・プラント等の輸出入

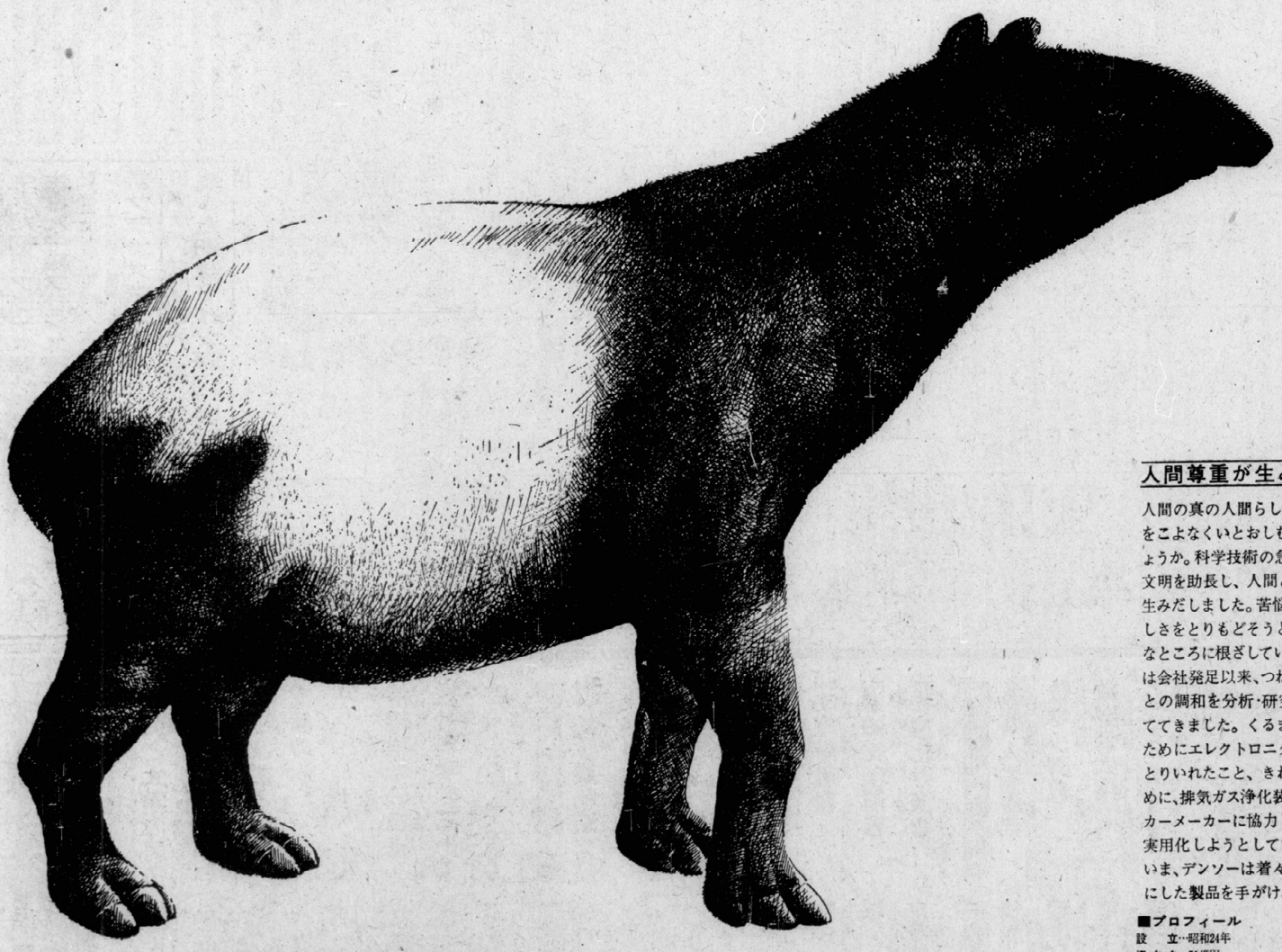
海外支店　ニューヨーク・ロンドン・パリ・メルボルン　シドニー・マドリット・モスクワ・北京　カラカス・ブカレスト・ヨハネスブルグ

TOMAS　東京貿易株式会社

本社／東京都中央区日本橋兜町2-21　TEL(552)7211

採用関係連絡先＝総務部人事管理課





夢をたべる動物 バク
Tapirus malayanus

夢をユメで終らせない——
それが、未来開発のポジショニングです。

人間尊重が生みだす製品

人間の真の人間らしさとは、人間が自らをこよなくいとおしむことではないでしょうか。科学技術の急速な進歩が、物質文明を助長し、人間とのアンバランスを生みだしました。苦悩する人間…人間らしさをとりもどそうという運動も、そんなところに根ざしているのです。デンソーは会社発足以来、つねに人間とメカニズムとの調和を分析・研究し、商品化に役立ててきました。くるまの安全性を高めるためにエレクトロニクスやI・Cの技術をとりいれたこと、きれいな空気を保ったために、排気ガス浄化装置を開発したことカーメーカーに協力して、電気自動車を実用化しようとしていること……など。いま、デンソーは着々と人間尊重を基本にした製品を手がけ、人間の夢を実現しようとしています。人間を愛し、より豊かな未来社会をつくるために、努力する会社、それがデンソーです。

デンソーの未来開発に参加しませんか

つねに前向きで一歩先んじた企業体制の確立、それが柔軟性のあるデンソーの組織づくりの基本です。
未来開発をめざして若い有能なバイタリティーが、重要なセクションを担い第一線でダイナミックに活躍しています。そこには、責任と権限の大幅な委譲と上意下達、下意上達がスムーズにかつスピーディーに行なわれています。
適材を適所に、しかもすべての人に能力開発の機会均等を……。デンソーはいま、あなたの豊かな創造力と若いエネルギーの参加を切望しています。

■プロフィール
設　立…昭和24年
資本金…51億円
工　場…本社工場(刈谷市)・池田工場(刈谷市)・安城製作所(安城市)・西尾製作所(西尾市)・名古屋工場(名古屋市)・広島工場(広島市)
売上高…930億円(45年度)
従業員数…14,500名(内女子5,000名)

■主な製品
★電気自動車機器
★スターター　★オルタネーター
★カーヒーター　★カークーラー
★スパークプラグ　★ラジエーター
★噴射ポンプ　★オイルフィルター
★コンビネーションメーター
★各種電子自動制御装置
★排気ガス浄化装置用エアーポンプ

会社案内をご希望の方は、下記宛ハガキでご請求ください。
日本電装㈱人事部採用一課・愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 〒448 電話 刈谷〈0566〉22—3311（大代）

未来開発に挑む青年企業
ND デンソー
日本電装株式会社

# 東京ルポ

## 4・28～メーデー

四・二六闘争の経過については週刊のニュースで明に報告したが、今週開の「四・二八闘争から五月一日のメーデーまで、東京で活動した本紙編集員の東京ルポ」を掲載する。（編集部）

四月二十六日。市ケ谷から法政大学へ。途中、ふんんに比べ、通行する学生の数の多いのを気にしながら歩くと、いきなりに高く張りめぐらされた鉄柵のとされ目から、竹槍を構く学生の姿が見える。道路のわきにいくつかの小さな書が「本日ノ12ヒ半　文学生大会　八三ヘノ」と四・二八ストへの大衆的な高揚を感じさせている。

機動隊側の名残りがのこる正門を入るとほたして、そこっぱ。ったった。かつて「法政のテカン、タチカンの法政」として有名を誇ったほどではないにしろ、十数組の立看板が各学部の学生大会の開催や四・二八闘争への決起を告げている。

## 法政大学 Ⅰ・Ⅱ部闘連

昨年八月、「梅雨闘事件」多発機に、ごっそとばかり法政大当局が、闘う学生にかけたロックアウト攻撃に対し、一貫したロックアウト粉砕闘争を三ヵ月にわたって闘い抜き、さらに機動粉砕闘争へと、五〇名にのぼる不当逮捕、三名の不当訴、告訴、当局による除籍処分に対して闘った部分は、現在も法政大学におけるすべての自治委員総会にもぐり込んだ。議長者が、Ⅰ・Ⅱ部闘連を中心とする勢力表から、意表が社会学部反帝学部から出されている。揺れていったぼくは多くの発言は聞けなかったが、オブザーバーを含めて、百名を越す学生が集まって、焼会あり、一年生も多いようだった。

一年生が加わると議論は面白くなるのである。

「こっ親、民主主義云々を話した人がいるけれど、僕の親父は東交に勤めてるんだけれども、合理化のこと言いながら、都知事選ではみのべに投票しているる。なぜみのべに入れるのか聞くと、みのべは革新だからって言うんですよね。やっぱりみのべやメメなんじゃないか」と僕は思っんだけど……」

「そっぎから民主主義がどうこ沖縄がどうこと言ってるけどよ。おれは馬鹿から出てきたばっかりで何もわからんけどよ。そんなことどうでもいいじゃないか。実際に体でぶつかってみたらわかるじゃないか。まあそんなとこだ。」

爆然は闘争はこの事態段階でも、なお問題の議案書が提出され、決議された。

執行委員の学生が、飛び込んできた。

「学生諸君！オブザーバーは退場させられたが、ぼくは京大新聞の記者ということで在室を許されたんだ。この闘争は、先ほど若手教官の「二つの反帝戦線」の衝突の様を見て、日頃の日向派側からは、然さき祝の衝突に加わっていた風われた京大の教養部戦線の時大全学闘の部隊が公開内に入ってきたのだから。しかし、彼らがを体としてかわわれる問題でもない。まあ、こういうことも十分起り得たのだし、現にそうではないか」と思いなおしてぼくは野音に入った。

## 日比谷野音の統一集会

図書館横での「二つの反帝戦線」の衝突の様を見ての日向派の平ヤッチャーマスクには天しで驚かなかったぼくも、関西派が人間外へ追い出されてしまった後、日向派がまだ待機しているはずの図書館横から「全京都学生連合」の旗がちらへ入ってくるのを見て、何のしら理解し難いものを感じてしまった。「ナント」を機機し、日頃の日向派側からは、然さき祝の衝突に加わっていた風われた京大の教養部戦線の時大全学闘の部隊が公開内に入ってきたのだから。しかし、彼らがを体としてかわわれる問題でもない。まあ、こういうことも十分起り得たのだし、現にそうではないか」と思いなおしてぼくは野音に入った。

## 日比谷野音の統一集会

統一集会が始まった。フタをあけてみると二例によって、例の如く」でもなかった。

千葉県労戦・群馬県労戦・埼玉県反戦の各代表三氏によって司会が行なわれ、全国反戦・東京入管闘・関西反富行動委の発言を、闘いの最段階と問題点がよく表れていた。ここで、全国全共闘連合に正面な話ではないか。かつての集会で東大全共闘の鈴木君の発言を聞きながら、ぼくは、彼をピエロにしなければ成立しない集会なんてやめてしまえ！」とさえ思ったことがある。

まして、三里塚・北富士、金属労牧憲を含む青年部なる各領域からの発言、メッセージは、統一集会に結集する多くの部分をひきつけ、集会を内容豊富なものにしつつあるのだが、これらをただ数が多いというものでもないだろうに。

学生団体「八派」の発言、まず白ヘルメットをかぶった M君。「沖縄百万県民の！戦後二十六年にわたる！復帰の要求を……ふたこと！ヒ！ヒ！ヒ

書評

# 閉塞した円環の中の「大義」

## 共同体概念の欠落が決定的

滝田　修

**ならずもの暴力宣言**

芳賀書店

浅薄な世代論者を自認するつもりは毛頭ないが、現実の階級闘争―大衆運動を担う部隊が、（この京大をとってみても）直接的には全共闘運動から切れた地点から出発した者たちにとって変られつつあるという現況。あるいは、全く新しい世代（彼らは三、四歳にしてすでにテレビ文化にさらされている）が、日本帝国主義の確立過程に照応する近代の真っ只中で成長し、この今破壊され尊厳残存する帝国主義大学の門をくぐっているという事実。

「たった一度の勝利までは、敗北を歴史に刻印していく（していかざるを得ない）」プロレタリア階級闘争は、莫大な血の代価を払いつつ、しかしながら日々ゆるやかな進展〈革命〉を続けている。それは〈進展〉というべきものではないかもしれない。通過した矛盾は混乱を呼び、未だベクトルの合成力の定まらない混沌がそうだ。

こうした、呼び起された混乱の一つ一つが、巨大な指揮力をもつ帝国主義的市民秩序に糾合され、闘いは未だ勝利を、確固としたものとしてわが手にできずにいる。獲得した地平とはまさに、この敗北の積み重ねのうえに創り出された抽象―階級的な抽象に他ならない。そして、この階級的な抽象に無自覚に、一切の次の目的意識性はないといってもよいだろう。

今、プロレタリアート階級の階級的成熟の度合は、公然と〈革命〉の問題を提出し始め〈革命〉の点に立つ現在の時代把握は、しかるべき、情勢の分析に対する方法である。

われわれの世代―全共闘の世代ともいうべきは、こうして〈革命〉の問題に到達してしまったといえ、この階級的抽象を下がることのできないことを誠る。それは、この闘争代性の断固なる持続・発展とともに、可能な限りでの無条件として、われわれの任務となるであろう。手さぐりでもなく実感でもない〈問題〉の生々しさは、それを生涯忘れた者たちの獲得したものの全的な発現によってのみ現実性（リアリティ）を維持するものなのだ。

☆　☆　☆

うひうひしくて　ナイーブでしたたかに　たくましくおおらかである

極度のナルシシズムの気風すら感じられるこの形容が、ほかならぬ入滝田氏ならのイメージであるに、自らが、その製作のプロセスを〈人間〉として生きるべき男の大義に基づ、あるいは革命的左派の大道にまでひき上げてくれた」と言ってはばかられない『バルチザン前記』には、男タキタを、京大全共闘の名とともに、一躍時代の人にしてしまった。

しかしながら、少くとも闘争の男たちと通ず地点に男滝田修はいる。そのたくましき生命力と豊かな構想力、そして「義理と大情」がそうだ。

しかるに、そのへ総べのたくましき生命力は、全共闘運動以降、絶えることなく生き続けて、政治的真空の時間帯を投げこんでいる。「七〇年六月全学ストー」に日共の専制的抑圧機構に断固としてたち向かった「十月行動」に、そして「三島事件」に。

しかしながら、自らもその中で育ち、「男」になったと自認する全共闘運動―反大学闘争の始発点以来、めざましい活躍を続け滝田修は、その秀逸な政治論理と、プロレタリア階級へのこの上ない愛にもかかわらず、「三島事件」をもって、その政治思想の根拠の欠座を自ら宣告してしまったと言わざるをえない。

それは、端的に言って、革命論は革命、暴力の物象化、あるいは、共産主義運動から遮断された地点での決意性の抽出……として切られた右翼の上に、ただ大義〈革命〉を、その中に〈総〉をしか設定することができないのだ。

☆　☆　☆

さて、先に述べた戦士―プロレタリア「概念」を担い得る力の形成、歴史的必然に基づいた人間着づけの経済的暴力〈革命〉を、現下の階級状勢の下に一点絞り合わせて提出する滝田氏の論理は、実に鮮明であり、その論理展開は端的だ。それは概ね、次のようである。

すなわち、現下の国家独占資本主義段階の日本においては、国家と市民社会が、外面の分離の中で実は極めて粘着して「社会の国家化」ともいうべき事態が進展しているこのような中で、基幹産業労働者、あるいは「労働者本隊」は、ドップリプリと帝国主義的秩序に浸り、最も保守的でさえある。従って今問われているのは、プロレタリアートの実体的存在を前提として、そのプロレタリア階級意識化の過程的真成熟を考えて事足りるとするのではなくて、プロレタリア「概念」を担い得る力これを〈形成〉すること基本的な階級形成のモチーフとすることである。

☆　☆　☆

確かに、現下の階級状勢にあって、基幹産業労働者の多くの、帝国主義社会化の進行は著しく「中枢矛盾」（貧労働・資本）への進撃を、帝国主義社会秩序の最下層の反乱から開始せんとする闘いの方向は、鋭い洞察に違いない。そして、ルカーチの予定調和的な階級形成論、グラムシの社会闘争・政治闘争の二元論への批判は当然の対象である。

しかしながら、対自化された意識として共産主義（イデーとして）を獲得しつつ、多くの学生を社会へ送り出していった私学生運動の前史が、ほとんど何の成果へ共産主義〈革命〉の反乱として―も見せることなく再生産されたという否定的な現実は、まさに、ブルジョア支配の貴徴のあり方として、その根拠があったのであって、決して左翼〈指導部〉が原因でもなければ、軍事のみの未形成でもない。

今問われているのは、全共闘運動によって始めて、大衆的に明らかにされたであろう、このブルジョア支配の貴徴のあり方をあくまで対象的に把握・継承しつつ、現実になるべき呼ばれている〈革命〉の地点からの現実への聖闘の対象化であろう。

徹底的に開き直った末の無秩序への期待は、それ自身として何ら積極的な意味をもたない。ファシズムの力強さは、男滝田修のその鈴木忠郎度はりの生命力こそ、ぼくたちの世代にとれ有のナイーブさの一切をのみこんでしまう筈はない。論理的徹底の末に、堅主観的（大義）を言う滝田氏を、ぼく自身信じている。その人間としての魅力こそ、生命力、豊かな想像力と、革命のこころへの主体言葉をあって。

（田代）

---

**ベスト・セラー**

ナカニシヤ書店
① 桂圭男「パリコミューン」（岩波新書）② 桂圭男「パリコミューン」（岩波新書）③ 真木孝次郎「奈良」（岩波新書）④ 高橋和巳「わが解体」（河出書房）⑤ 柴田翔「立ち尽す明日」（新潮社）⑥ 土居健郎「甘えの構造」（弘文堂）

ふたば書房
① 柴田翔「立ち尽す明日」（新潮社）② 桂圭男「パリコミューン」（岩波新書）③ 真木孝次郎「奈良」（岩波新書）④ 児島襄「東京裁判」（中央公論新書）

---

MARO RECORD
―山下洋輔　トリオ―
Dancing　古事記
1969年7月　早大四号館に
繰りひろげられた　永劫との闘い
東風に乗って……上洛
□取扱い店□　京都書院・三月書房
□問い合せ□　京都 075 (841) 5695 ZINTA
大阪 06 (632) 5489 ディラン
限定 1000部・2000円・麿プロダクション

新古・カメラ在庫・豊富
カメラ買取・交換・金融・歓迎
キネヤカメラ店
京都三条大橋西詰　TEL (221) 4153

躍動の時代をリードする〈ヨコガワ〉

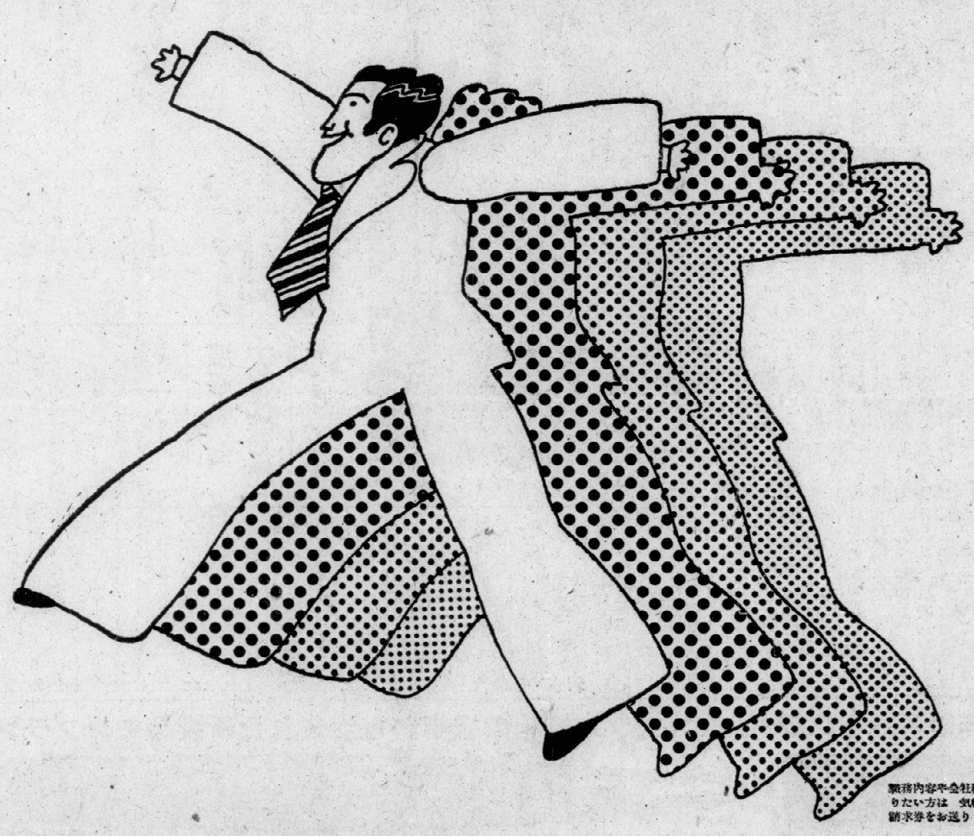
いま省力機器産業は　時代の最先端をになう花形企業として注目をあつめています。なかでも横河電機は　いち早くコンピューター（情報）とオートメーション（省力化）をジョイントさせ画期的なコンピュートメーションに先鞭をつけた業界のリーダー。その横河電機がさらに高い飛躍をめざして　若々しいエネルギーを求めています。意欲と冒険心に富む仲間ならどなたでも大歓迎です。

若いあなたの情熱を求めています

●採用条件
初任（基本）給・修士約64,000円　学士約55,000円
賞　与・基本給の10.9ヵ月分（昨年実績）
勤務時間・8.20～17.15で週40時間制
休　日・土曜、日曜、祝祭日等で年間約116日
●採用予定学部・学科
事務系・経済　法律　商　経営　社会の学部学科
技術系・電気　電子　計測　制御　機械　精密
物理　応物（大学院修士も歓迎）
●創　立／1915年9月
●資本金／38億5875万円
●従業員／約3,200名
●売上高／約320億
●事業所／東京　大阪　名古屋　北九州　広島　新潟
新居浜　ニューヨーク　ハンブルグほか

コンピュートメーションの推進者
YEW　横河電機
■問い合せ先　東京都武蔵野市中町2丁目9番32号　〒180
株式会社　横河電機製作所　総務部人事課　☎0422-51-8111

ダイナミックな人生の開幕。



職務内容や会社概要について詳しいことを知りたい方は　気軽にご来社くださるか　資料請求券をお送りください。

資料請求券
この部分を切り取ってお送りください。
H－7

〈連絡先〉山之内製薬株式会社　組織人事部人事室人事第一課採用係　東京都中央区日本橋本町2-5〒103　TEL(03)270－5111(大代表)　資本金36億円　昭和45年度売上高342億円　従業員約3600名　本社／東京　支店／東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台

(個性尊重企業)

誰でもない。信頼の新しい1ページを創造するのはあなたです。いちど声をかけてみては。信頼の山之内製薬。

山之内
山之内製薬